

世帯と人口

(3月1日現在)

| | | |
|----|----------|--------|
| 世帯 | 43,245 | (+ 55) |
| 人口 | 118,350人 | (+ 32) |
| 男 | 60,494人 | (+ 3) |
| 女 | 57,856人 | (+ 29) |

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



▶演劇パフォーマンス(上)や中国の健康体操(下)も大人気



◀集会室のステージでは津軽三味線の演奏も



▶つくって遊ぶの展示に子どもたちも大喜び



◀年齢を問わず愛好者の多い社交ダンス

えびな模様…東柏ヶ谷から

地域発えびなの活性へ

4月には新入学や新生活が始まることから、節目の月といわれます。この節目に新しい活動を始める人も多いことでしょう。例えばダンスや演劇、楽器演奏、絵手紙や手芸など多様な市民活動もその一つです。今回は、これらのサークルによって「地域」を文化発表の場とした「コミセンまつり」が行われるなど、活気あふれる東柏ヶ谷をご紹介します。

市内初のコミュニティセンター「柏ヶ谷コミセン」が、東柏ヶ谷二丁目に誕生したのが15年前。この柏ヶ谷コミセンで、今年の2月17・18日に行われた「コミセンまつり」も市内で最初の催しです。このまつりは、事前周知から会場準備などの運営を「コミセンまつり実行委員会」という、市民の手で行ったことが大きな特徴です。

コミセンの運営は、市民で構成される運営委員会が行っています。その委員から「単なる貸し館だけでなく、サークルの発表の場を提供し、利用者同士の交流を図ろう」と発案したのがまつり開催のきっかけでした。そして、柏ヶ谷コミセンに集う多くの団体に、この企画を持ちかけたところ、趣旨に賛同した団体が構成員となって「コミセンまつり実行委員会」が誕生したのです。

まつり当日は、43もの団体が参加し、来場者も2日間1700人を超える盛況ぶりでした。

立案者の一人、運営委員の高森義隆さん(東柏ヶ谷二丁目在住)は、「こうした市民中心の催しによって地域交流が活性化し、身近な文化に触れられるようになって欲しいですね」と言います。さらに、「来年以降も続けたいことはもちろんですが、他のコミセンでも行われるようになると、市全体が活性化すると思います」とも。意欲的な市民活動によって実現した「コミセンまつり」。より一層の生涯学習や市民活動が重視される中、市民が企画・運営する催しによって、海老名の活力が高まっていくことが期待されます。

東柏ヶ谷 アラカルト

◎人口(平成13年3月1日現在) 13,412人[男7031人・女6381人]

◎世帯 5632

◎面積 0.96平方キロメートル [市全面積 26.48平方キロメートル]

◎沿革 昭和52年5月、中原・大道付・東原を合わせて誕生した地名。本村(柏ヶ谷)に対して東部に位置することから。